

災害救護速報

令和8年熊本地震にかかる 日本赤十字社の対応等について(第16報)



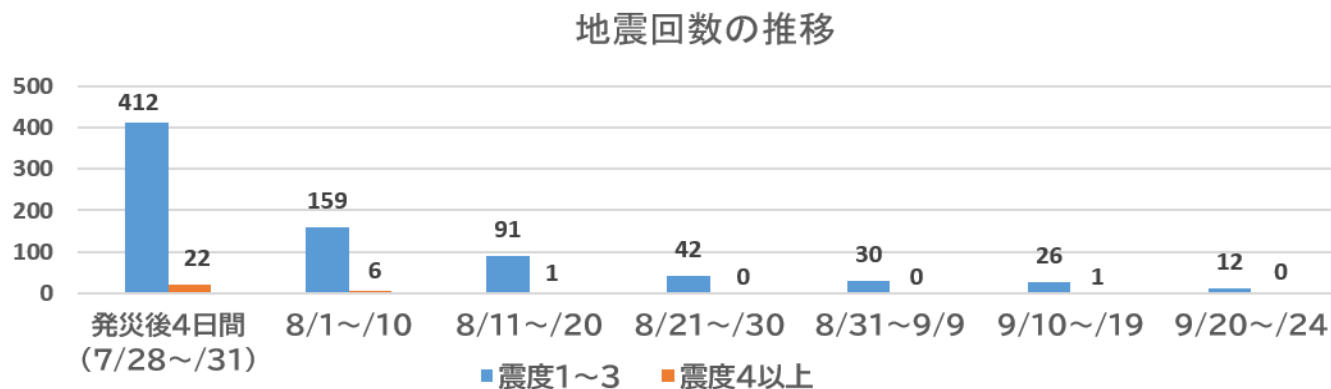
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2026年9月25日(金)
事業局 救護・福祉部

1 災害の概要

(1) 概要 [気象庁情報：9月24日9時00分 現在]

- 令和8年7月28日16時27分に発生
- 震源地は、熊本県熊本地方でマグニチュード7.1と推定
- 最大震度は7を観測（熊本県宇城市、氷川町）
- 28日16時以降、震度1以上を観測した地震が802回発生
（震度7：1回、震度5弱：5回、震度4：24回、震度3：74回、震度2：190回、震度1：508回）



1 災害の概要

(2) 被害状況 [消防庁情報：9月24日17時00分 現在]

	人的被害			住家被害		
	死者	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損
熊本県	38 人	<u>39</u> 人	330 人	<u>2,270</u> 棟	<u>6,357</u> 棟	<u>43,544</u> 棟
他府県計	0 人	1 人	3 人	0 棟	0 棟	8 棟

(3) 熊本県のライフライン等の状況

	復旧状況
水道関係	8月28日に全ての水道本管の応急復旧が完了
電力関係	7月31日に全復旧
ガス関係	8月14日に全復旧

1 災害の概要

(4) 避難所の状況 ※ () 内の数字は前報比 [熊本県：9月15日14時00分 現在]

- 避難所開設数：36カ所 (-1)
- 避難者数：1,695人 (-85)

市町村	避難所数	避難者数
熊本市	3カ所 (0)	<u>79</u> 人 (<u>-14</u>)
宇土市	1カ所 (0)	79人 (0)
宇城市	8カ所 (0)	<u>439</u> 人 (<u>-35</u>)
八代市	<u>14</u> カ所 (<u>-1</u>)	<u>836</u> 人 (<u>-30</u>)
氷川町	3カ所 (0)	<u>212</u> 人 (<u>-14</u>)
その他市町村	7カ所 (0)	<u>50</u> 人 (<u>+8</u>)

2 日本赤十字社の主な活動状況

(1) 救護体制 [9月25日11時00分 現在]

第1次救護体制：救護担当部門で対応 第2次救護体制：原則全部門で対応
 第3次救護体制：全職員で対応

本社・ブロック	支部名	救護体制
本社	—	第2次救護体制
第6ブロック (九州・沖縄)	福岡県支部	第2次救護体制
	佐賀県支部	第2次救護体制
	長崎県支部	第2次救護体制
	熊本県支部	第3次救護体制
	大分県支部	第2次救護体制
	宮崎県支部	第2次救護体制
	鹿児島県支部	第2次救護体制
	沖縄県支部	第2次救護体制

* 本社及び第6ブロック以外の都道府県支部も、救護体制を発令し対応中であること。 5

2 日本赤十字社の主な活動状況

(2) 活動の概要 [9月25日 現在]

職員・ボランティアの派遣



救護班

延べ**183班**を派遣



日赤災害医療

コーディネートチーム

延べ**71チーム**を派遣



こころのケア班(調整班含む)

延べ**48班**を派遣



支部支援要員等

延べ**88人**を派遣

救援物資の配布



毛布・タオルケット
670枚



安眠セット
2,244セット



その他
パーテーションなど

その他、赤十字奉仕団等の赤十字ボランティアが、被災地をはじめ全国で活動中

2 日本赤十字社の主な活動状況

(3) 救護要員の派遣状況 [9月25日11時00分現在]

ア 関係機関への要員派遣：派遣延べ人数 29人

派遣元	派遣数※	派遣先	活動内容	活動期間
熊本県支部	1人	熊本県庁	熊本県災害対策本部会議	7/28～

※表内の派遣数については現在活動中のものであること



発災当初の熊本県災害対策本部会議（熊本県 熊本市）

2 日本赤十字社の主な活動状況

イ 救護班：派遣延べ班数 183班

被災地における保健・医療ニーズのアセスメントや巡回診療の他、被災した医療機関の支援や災害関連死防止のための取り組み等を行います。

また、必要に応じて避難所の環境改善（段ボールベッドの展開等）のための取り組みも行います。



熊本県支部災害対策本部でブリーフィングを受ける救護班（熊本県 熊本市）

2 日本赤十字社の主な活動状況



暑熱環境下で活動を行う救護班（熊本県 宇城市）



避難所を巡回する救護班（熊本県 宇城市）



被災者の方と向き合う救護班（熊本県 八代市）



2 日本赤十字社の主な活動状況



避難所で様々な支援団体と連携して活動する救護班(熊本県 宇城市)



避難所の環境改善活動を行う救護班(熊本県 宇城市 八代市)

2 日本赤十字社の主な活動状況

イ 救護班

(ア)活動中 班数 5班

派遣先	支部名	派遣元	派遣数	活動期間
八代市 八代市役所	<u>栃木県支部</u>	<u>芳賀赤十字病院・那須赤十字病院</u> <u>(合同班 1)</u>	<u>1</u> 班	<u>9/23</u> ～
	<u>福岡県支部</u>	<u>福岡赤十字病院</u>	<u>1</u> 班	<u>9/23</u> ～
	<u>熊本県支部</u>	<u>熊本赤十字病院</u>	<u>1</u> 班	<u>9/25</u> ～
宇城市 宇城保健所	<u>島根県支部</u>	<u>松江赤十字病院</u>	<u>1</u> 班	<u>9/23</u> ～
	<u>熊本県支部</u>	<u>熊本赤十字病院</u>	<u>1</u> 班	<u>9/25</u> ～

2 日本赤十字社の主な活動状況

イ 救護班

(イ) <活動終了> 班数 178班

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
本社	2 班	本社	2 班	日本赤十字社医療センター (2)
1 B	10 班	北海道支部	2 班	旭川赤十字病院 (1)、釧路赤十字病院 (1)
		青森県支部	1 班	八戸赤十字病院 (1)
		岩手県支部	1 班	盛岡赤十字病院 (1)
		宮城県支部	3 班	仙台赤十字病院 (1)、石巻赤十字病院 (2)
		秋田県支部	1 班	秋田赤十字病院 (1)
		山形県支部	1 班	北村山公立病院 (協定) (1)
		福島県支部	1 班	福島赤十字病院 (1)

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
2 B	<u>27</u> 班	茨城県支部	3 班	水戸赤十字病院（2）、古河赤十字病院（1）
		栃木県支部	3 班	芳賀赤十字病院（1）、那須赤十字病院（1） 足利赤十字病院（1）
		群馬県支部	3 班	前橋赤十字病院（1）、原町赤十字病院（2）
		埼玉県支部	3 班	さいたま赤十字病院（1）、小川赤十字病院 （1）、深谷赤十字病院（1）
		千葉県支部	2 班	成田赤十字病院（2）
		<u>東京都支部</u>	<u>5</u> 班	<u>武蔵野赤十字病院（2）、大森赤十字病院（2）</u> 東京かつしか赤十字母子医療センター（1）
		<u>神奈川県支部</u>	<u>4</u> 班	<u>横浜市立みなと赤十字病院（2）、秦野赤十字病</u> 院（1）、相模原赤十字病院（1）
		新潟県支部	3 班	長岡赤十字病院（3）
		山梨県支部	1 班	山梨赤十字病院（1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
3 B	22 班	富山県支部	2 班	富山赤十字病院（2）
		石川県支部	2 班	金沢赤十字病院（2）
		福井県支部	2 班	福井赤十字病院（2）
		長野県支部	4 班	長野赤十字病院（1）、諏訪赤十字病院（1） 下伊那赤十字病院（1）、飯山赤十字病院（1）
		岐阜県支部	2 班	高山赤十字病院（1）、岐阜赤十字病院（1）
		静岡県支部	2 班	静岡赤十字病院（1）、浜松赤十字病院（1）
		愛知県支部	6 班	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院（3） 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（3）
		三重県支部	2 班	伊勢赤十字病院（2）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
4 B	14 班	滋賀県支部	2 班	大津赤十字病院（１）、長浜赤十字病院（１）
		京都府支部	2 班	京都第二赤十字病院（１）、舞鶴赤十字病院（１）
		大阪府支部	3 班	大阪赤十字病院・高槻赤十字病院（合同班３）
		兵庫県支部	3 班	姫路赤十字病院（１）、神戸赤十字病院（１） 多可赤十字病院・神戸赤十字病院（合同班１）
		奈良県支部	2 班	奈良県立医科大学附属病院（協定）（１） 市立奈良病院（協定）（１）
		和歌山県支部	2 班	日本赤十字社和歌山医療センター（２）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
5 B	32 班	鳥取県支部	3 班	鳥取赤十字病院 (3)
		島根県支部	4 班	松江赤十字病院 (2)、益田赤十字病院 (2)
		岡山県支部	3 班	岡山赤十字病院 (3)
		<u>広島県支部</u>	<u>4 班</u>	<u>広島赤十字・原爆病院 (2)</u> 庄原赤十字病院 (1)、三原赤十字病院 (1)
		山口県支部	4 班	山口赤十字病院 (3)、小野田赤十字病院 (1)
		<u>徳島県支部</u>	<u>4 班</u>	<u>徳島赤十字病院 (3)</u> 徳島赤十字ひのみね医療療育センター (1)
		<u>香川県支部</u>	<u>4 班</u>	<u>高松赤十字病院 (4)</u>
		愛媛県支部	3 班	松山赤十字病院 (3)
		高知県支部	3 班	高知赤十字病院 (3)

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
6 B	71 班	福岡県支部	9 班	福岡赤十字病院（6）、今津赤十字病院（1） 嘉麻赤十字病院（1）、福岡赤十字病院・今津赤十字病院（合同班1）
		佐賀県支部	5 班	唐津赤十字病院（5）
		長崎県支部	6 班	日本赤十字社長崎原爆病院（4）、 日本赤十字社長崎原爆諫早病院（2）
		熊本県支部	34 班	熊本赤十字病院（34）
		大分県支部	5 班	大分赤十字病院（5）
		宮崎県支部	4 班	宮崎大学医学部附属病院（協定）（1） 宮崎市郡医師会病院（協定）（1） 県立宮崎病院（協定）・県立延岡病院（協定）（合同班1）、都城市郡医師会病院（協定）（1）
		鹿児島県支部	4 班	鹿児島赤十字病院（4）
		沖縄県支部	4 班	沖縄赤十字病院（4）

2 日本赤十字社の主な活動状況

- ウ 日赤災害医療コーディネートチーム：活動数延べ 71 チーム
被災地の保健医療ニーズを把握し、関係機関との調整や医療救護に関する専門的助言を行います。



熊本県庁及び被災地保健医療福祉調整本部におけるコーディネート活動（熊本県 熊本市 八代市）



熊本県支部災害対策本部におけるコーディネート活動
（熊本県 熊本市）

2 日本赤十字社の主な活動状況

ウ 日赤災害医療コーディネートチーム
 (ア) 活動中 チーム数 3 チーム

派遣先	支部名	派遣元	派遣数	活動期間
熊本県支部	<u>熊本県支部</u>	<u>熊本赤十字病院</u>	<u>1</u> チーム	<u>9/20～/25</u>
八代市 八代市役所	<u>三重県支部</u>	<u>伊勢赤十字病院</u>	<u>1</u> チーム	<u>9/22～</u>
宇城市 宇城保健所	<u>兵庫県支部</u>	<u>神戸赤十字病院</u>	<u>1</u> チーム	<u>9/22～</u>

2 日本赤十字社の主な活動状況

ウ 日赤災害医療コーディネートチーム

(イ) <活動終了>チーム数 68チーム

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
1B	5チーム	北海道支部	1 チーム	北見赤十字病院・小清水赤十字病院 (合同班 1)
		青森県支部	1 チーム	八戸赤十字病院 (1)
		岩手県支部	1 チーム	盛岡赤十字病院 (1)
		宮城県支部	1 チーム	石巻赤十字病院 (1)
		福島県支部	1 チーム	福島赤十字病院 (1)

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
2B	8チーム	茨城県支部	1 チーム	古河赤十字病院（1）
		群馬県支部	1 チーム	前橋赤十字病院（1）
		埼玉県支部	2 チーム	さいたま赤十字病院（2）
		千葉県支部	1 チーム	成田赤十字病院（1）
		東京都支部	1 チーム	武蔵野赤十字病院（1）
		神奈川県支部	1 チーム	横浜市立みなと赤十字病院（1）
		新潟県支部	1 チーム	長岡赤十字病院（1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
3B	<u>10</u> チーム	富山県支部	1 チーム	富山赤十字病院 (1)
		石川県支部	1 チーム	金沢赤十字病院 (1)
		<u>福井県支部</u>	<u>1 チーム</u>	<u>福井赤十字病院 (1)</u>
		<u>長野県支部</u>	<u>2 チーム</u>	<u>長野赤十字病院 (1)</u> 、安曇野赤十字病院 (1)
		岐阜県支部	1 チーム	高山赤十字病院 (1)
		静岡県支部	1 チーム	静岡赤十字病院 (1)
		愛知県支部	2 チーム	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 (1) 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・名古屋第二病院 (合同班 1)
		三重県支部	1 チーム	伊勢赤十字病院 (1)

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
4B	<u>10</u> チーム	<u>滋賀県支部</u>	<u>2</u> チーム	<u>大津赤十字病院（１）</u> 、 <u>長浜赤十字病院（１）</u>
		京都府支部	2 チーム	京都第一赤十字病院（２）
		<u>大阪府支部</u>	<u>2</u> チーム	<u>大阪赤十字病院（１）</u> 、 <u>高槻赤十字病院（１）</u>
		兵庫県支部	2 チーム	神戸赤十字病院（１）、姫路赤十字病院（１）
		和歌山県支部	2 チーム	日本赤十字社和歌山医療センター（２）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
5B	8チーム	鳥取県支部	1 チーム	鳥取赤十字病院（1）
		岡山県支部	1 チーム	岡山赤十字病院（1）
		広島県支部	2 チーム	広島赤十字・原爆病院（2）
		徳島県支部	1 チーム	徳島赤十字病院（1）
		香川県支部	1 チーム	高松赤十字病院（1）
		愛媛県支部	1 チーム	松山赤十字病院（1）
		高知県支部	1 チーム	高知赤十字病院（1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
6B	<u>27</u> チーム	福岡県支部	2 チーム	福岡赤十字病院（2）
		佐賀県支部	1 チーム	唐津赤十字病院（1）
		<u>佐賀・大分県 支部合同</u>	<u>1</u> チーム	<u>佐賀県支部・大分赤十字病院 （合同チーム1）</u>
		長崎県支部	2 チーム	日本赤十字社長崎原爆病院（2）
		<u>熊本県支部</u>	<u>20</u> チーム	<u>熊本赤十字病院（20）</u>
		沖縄県支部	1 チーム	沖縄赤十字病院（1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

エ こころのケア班（調整班含む）：活動数延べ 48班

（ア）こころのケア調整班 活動終了

こころのケア活動体制の構築、展開方針の決定、関係機関との調整を行います。



こころのケア調整班から活動前の
ブリーフィングを受ける、こころ
ケア班メンバー（熊本県 熊本市）

2 日本赤十字社の主な活動状況

エ こころのケア班（調整班含む）

（イ）こころのケア班 活動中 班数 3班

被災された方々の健康や身近な悩みに耳を傾け、安心感や人とのつながりを取り戻せるよう支援します。その方の心身の状態や生活環境、周囲との関係を踏まえて、ハンドケアや足浴などのリラクゼーション、ストレスへの対処方法に関する情報提供などを行います。



被災者の方のお話に耳を傾けるこころの
ケア要員（熊本県 氷川町）



被災者の方へのリラクゼーション実施
（熊本県 氷川町）

2 日本赤十字社の主な活動状況

(イ) こころのケア班 活動中 班数 3班

派遣先	支部名	派遣元	派遣数	活動期間
熊本県	<u>大阪府支部</u>	<u>大阪赤十字病院</u>	<u>1</u> 班	<u>9/22</u> ～
熊本県	<u>香川県支部</u>	<u>高松赤十字病院</u>	<u>1</u> 班	<u>9/24</u> ～
熊本県	<u>大分・宮崎県支部</u>	<u>大分県支部・大分赤十字病院・ 宮崎県赤十字血液センター（合同班）</u>	<u>1</u> 班	<u>9/23</u> ～

※ この他に、救護班、日赤災害医療コーディネートチームに帯同しているこころのケア要員が医療救護活動等に併せてケアを実施している。

2 日本赤十字社の主な活動状況

エ こころのケア班（調整班含む）

（ウ）こころのケア調整班 <活動終了> 班数 13班

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
本社	3 班	本社	3 班	日本赤十字社医療センター（3）
1 B	<u>1</u> 班	宮城県支部	<u>1</u> 班	<u>石巻赤十字病院（1）</u>
2 B	1 班	東京都支部	1 班	東京都支部（1）
3 B	<u>2</u> 班	石川県支部	<u>1</u> 班	<u>石川県支部（1）</u>
		三重県支部	1 班	伊勢赤十字病院（1）
4 B	2 班	滋賀県支部	1 班	長浜赤十字病院（1）
		京都府支部	1 班	京都第一赤十字病院（1）
5 B	4 班	岡山県支部	2 班	岡山赤十字病院（2）
		香川県支部	1 班	高松赤十字病院（1）
		高知県支部	1 班	高知赤十字病院（1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

エ こころのケア班（調整班含む）

（エ） こころのケア班 <活動終了> 班数 32班

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
4 B	<u>10</u> 班	<u>滋賀県支部</u>	<u>2</u> 班	大津赤十字病院（1） <u>長浜赤十字病院（1）</u>
		京都府支部	2 班	京都第二赤十字病院（1） 京都第一赤十字病院・ 京都第一赤十字看護専門学校（合同班1）
		大阪府支部	2 班	大阪府支部・大阪赤十字病院（合同班1） 高槻赤十字病院（1）
		<u>兵庫県支部</u>	<u>3</u> 班	姫路赤十字病院（1） <u>神戸赤十字病院（1）</u> 兵庫県支部・多可赤十字病院（合同班1）
		和歌山県支部	1 班	日本赤十字社和歌山医療センター（1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
5 B	<u>11</u> 班	鳥取県支部	1 班	鳥取赤十字病院 (1)
		島根県支部	1 班	松江赤十字病院 (1)
		島根・岡山県支部合同	1 班	益田赤十字病院・岡山赤十字病院・岡山赤十字看護専門学校 (合同班 1)
		岡山・香川・高知県支部合同	1 班	岡山赤十字病院・高松赤十字病院・高知赤十字病院 (合同班 1)
		岡山県支部	<u>1</u> 班	<u>岡山赤十字病院 (1)</u>
		広島県支部	<u>2</u> 班	<u>三原赤十字病院 (1)</u> 広島県支部・広島赤十字・原爆病院 三原赤十字病院 (合同班 1)
		山口県支部	<u>1</u> 班	<u>山口赤十字病院 (1)</u>
		山口・愛媛県支部合同	1 班	山口赤十字病院・松山赤十字病院・愛媛県赤十字血液センター (合同班 1)
		徳島県支部	1 班	徳島赤十字ひのみね医療療育センター (1)
		高知県支部	1 班	高知赤十字病院 (1)

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣 ブロック	ブロック 派遣班数	支部名	派遣数	派遣元
6 B	<u>11</u> 班	福岡県支部	3 班	嘉麻赤十字病院（1） 福岡赤十字病院・今津赤十字病院・ 嘉麻赤十字病院（合同班1） 福岡県支部・福岡赤十字病院・ 今津赤十字病院（合同班1）
		佐賀県支部	1 班	唐津赤十字病院（1）
		<u>長崎県支部</u>	<u>1</u> 班	<u>日本赤十字社長崎原爆病院・長崎原爆諫早病院（合同班1）</u>
		長崎・宮崎県支部 合同	1 班	日本赤十字社長崎原爆病院・ 宮崎県支部（合同班1）
		<u>熊本県支部</u>	<u>1</u> 班	<u>熊本赤十字病院・熊本県健康管理センター（合同班1）</u>
		大分県支部	1 班	大分赤十字病院（1）
		鹿児島県支部	1 班	鹿児島赤十字病院（1）
		<u>沖縄県支部</u>	<u>2</u> 班	<u>沖縄赤十字病院（1）</u> 沖縄県支部・沖縄赤十字病院（合同班1）

2 日本赤十字社の主な活動状況

才 本社初動派遣要員、支部支援要員・広報要員

派遣延べ人数 88人

(ア) 活動中 派遣人数 2人

派遣先	活動内容	派遣元	派遣数	活動期間
熊本県支部	支部支援	<u>奈良県支部</u>	<u>1</u> 人	<u>9/21～/25</u>
熊本県支部	支部支援	<u>大分赤十字病院</u>	<u>1</u> 人	<u>9/24～</u>

2 日本赤十字社の主な活動状況

才 本社初動派遣要員、支部支援要員・広報要員

(イ) <活動終了> 人数 86人

派遣先	活動内容	派遣元	派遣数
熊本県支部	統括コーディネーター支援	本社	<u>1</u> 人
		石巻赤十字病院	<u>1</u> 人
		前橋赤十字病院	2 人
		さいたま赤十字病院	<u>3</u> 人
		本社 福島県支部 前橋赤十字病院 神戸赤十字病院	4 人
		本社 石巻赤十字病院 さいたま赤十字病院 金沢赤十字病院	4 人
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 京都第一赤十字病院 長浜赤十字病院	3 人
		京都第一赤十字病院	<u>1</u> 人

2 日本赤十字社の主な活動状況

派遣先	活動内容	派遣元	派遣数
熊本県支部	広報支援	本社	3 人
	支部支援	本社	<u>38</u> 人
		京都府支部	1 人
		大阪府支部	<u>2</u> 人
		兵庫県支部	2 人
		和歌山県支部	<u>1</u> 人
		福岡県支部	<u>4</u> 人
		佐賀県支部	3 人
		長崎県支部	<u>2</u> 人
		鹿児島県支部	2 人
		沖縄県支部	<u>2</u> 人
	義援金業務支援	本社	1 人
	ボランティア活動支援	本社	2 人
熊本県支部等	広報業務	本社	4 人

2 日本赤十字社の主な活動状況

カ 内閣府との協定に基づく活動

(ア) 内閣府調査チーム (※) への職員派遣

派遣延べ人数 2チーム4人

※被災地において、関係省庁及び被災地方公共団体と緊密な連携をとりつつ、主に次に掲げる任務にあたるもの。

内閣府との協定に基づき、日本赤十字社の医師等が同チームに帯同。

- ・被災地の調査及び被害情報その他の現地情報の収集
- ・被災地方公共団体が行う災害対応に関する支援

＜活動終了＞人数 2チーム4人

施設名	派遣元	派遣数	派遣先	活動内容	活動期間
本社	本社 日本赤十字社医療センター	1チーム 2人	熊本県庁	災害対応支援	7/28～8/2
	本社 日本赤十字社医療センター	1チーム 2人	熊本県庁	災害対応支援	8/2～/9

2 日本赤十字社の主な活動状況

(イ) 船舶活用医療

内閣府との協定に基づき、船舶を活用した医療が提供される際に日本赤十字社から救護班（資機材含む）を派遣するもの。

＜活動終了＞派遣人数 1 班 9 人

派遣先	支部名	派遣元	派遣数	活動期間
はくおうⅡ（八代港）	本社	日本赤十字社医療センター	1 班 9 人	8/3～/9

令和 8 年熊本地震では、防衛省手配のフェリー「はくおうⅡ」で行われた被災者対象の入浴サービスにおいて、乗船者187人に対して検温や問診などのメディカルチェックを行った（8/5）。台風接近に伴い当該船舶がしばらく避難・離岸することとなったため、関係者との調整の結果、地元医療者等に業務を引き継ぎ、その後は八代市内の避難所環境整備等に従事した。



船舶活用医療「はくおうⅡ」内での活動
 （熊本県 八代市）

2 日本赤十字社の主な活動状況

キ 給水衛生支援

日本赤十字社では海外での震災等に対応するための人材や資機材を整備しており、そのノウハウを活かし、断水が続く被災地で給水衛生支援事業を行いました。

活動内容：避難所への洗濯機、手洗い場設置等の給水支援
活動場所：八代市立第二中学校



機材を設置する熊本赤十字病院所属の
国際救援・開発協力要員（熊本県 八代市）



設置された給水機材及び洗濯機
（熊本県 八代市）

2 日本赤十字社の主な活動状況

(4) 救援物資の配布 [9月25日11時00分 現在]

配布先	安眠セット	タオルケット	支部名	配布日
宇城市 宇城学校給食センター ※	700セット		熊本県支部	8/3
	240セット		熊本県支部	8/7
下益城郡 美里町役場		100枚	熊本県支部	8/5
八代市 八代総合庁舎	6セット		熊本県支部	8/4
八代市 八代トヨオカ地建アリーナ (八代市総合体育館)	310セット		熊本県支部	8/4
	30セット		熊本県支部	8/22

同じ配布先に関しては統合して配布日順に表示していること。

※宇城学校給食センターは救援物資の集積場所（中継地点としてここから避難所等へ配布）であること。

2 日本赤十字社の主な活動状況

配布先	安眠セット	タオルケット	支部名	配布日
八代市立鏡小学校	60セット		熊本県支部	8/6
八代市日奈久小学校	10セット		熊本県支部	8/9
	10セット	10枚	熊本県支部	8/14
八代市立第四中学校	402セット	280枚	熊本県支部	8/3
八代市立鏡中学校	30セット		熊本県支部	8/8
八代市立第八中学校	70セット		熊本県支部	8/9
八代市立第一中学校	40セット		熊本県支部	8/10

2 日本赤十字社の主な活動状況

配布先	安眠セット	タオルケット	支部名	配布日
八代市 太田郷コミュニティセンター		120枚	熊本県支部	8/3
八代市 鏡コミュニティセンター	12セット	150枚	熊本県支部	8/3
八代市八千把コミュニティセンター	72セット		熊本県支部	8/7
	60セット		熊本県支部	8/10
八代市 麦島コミュニティセンター	90セット		熊本県支部	8/7
八代市 高田コミュニティセンター	42セット		熊本県支部	8/7
八代市 龍峯コミュニティセンター	24セット		熊本県支部	8/7
八代市 日奈久コミュニティセンター	30セット		熊本県支部	8/9
八代市 宮地コミュニティセンター	6セット		熊本県支部	8/13

【その他】

- ・パーティー： 2個(配布先:松橋東防災センター)
- ・毛布 : 10枚(配布先:日奈久小学校)

2 日本赤十字社の主な活動状況



救援物資の「安眠セット」とタオルケット



日本赤十字看護大学救護倉庫から救援物資を搬出する様子（東京都 渋谷区）

2 日本赤十字社の主な活動状況

（５）赤十字ボランティアの活動

熊本県内では、赤十字奉仕団員等、多くの赤十字ボランティアが救援物資の搬入や災害ボランティアセンターにて熱中症の予防・啓発活動等を行っています。
また、全国各地の赤十字ボランティアや青少年赤十字メンバー等が、義援金の募集や救援物資の搬入出の支援活動を行っています。

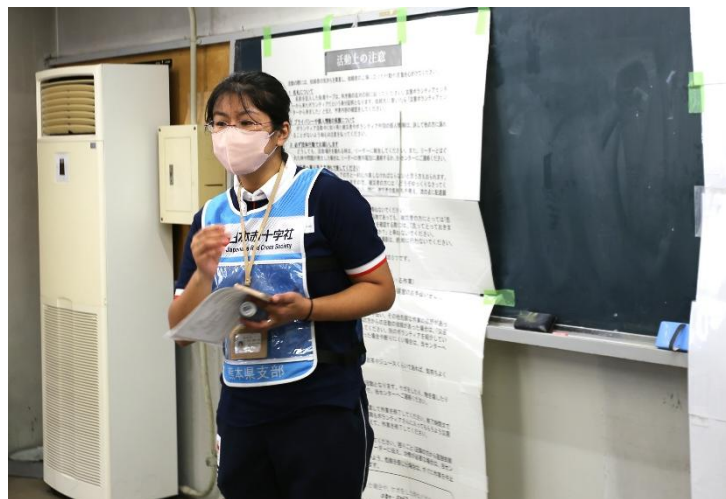


熊本県支部に到着したボランティア
（熊本県 熊本市）



避難所で救援物資の搬入を行うボランティア
（熊本県 八代市）

2 日本赤十字社の主な活動状況



赤十字講習指導員であるボランティアが、日頃の講習で培ったノウハウを生かして熱中症予防のポイントを伝える(熊本県 宇土市)



熱中症予防について説明を受けたボランティア(高校生)の皆さん(熊本県 宇土市)

みなさまの健康を守るために
日本赤十字社からのお知らせです



熱中症の予防について

熱中症になると、体の中の水分が不足して、体調をくずしてしまうことがあります。
汗と一緒に塩分も失われるため、**水分と塩分**をしっかりと補給しましょう。

熱中症は予防が大切!



日傘・帽子



暑いときには無理をしない



日陰を利用



水分をこまめにとる



こまめに休憩



涼しい服装

高温・多湿・風が強い環境にいて、
熱中症!?と思ったら...

START 下記のような症状がありますか?

めまい	頭痛	大量の汗
吐き気	おう吐	嘔吐感
気分の平気	こむらがえり	虚脱感

以下、**重症を疑って!**

意識障害	手足の運動障害
けいれん	高体温

高度な治療ができる病院へ!

涼しい場所に避難

- 本人が楽な体位に

水分補給

- 経口補水液、スポーツ飲料など

体を冷やす

- マスクや薄い衣服は脱がせ、体から熱をのがす
- 体の表面に水をかけて扇を扇ぐ

症状に改善が見られない! → **体調をよく観察し、休養しましょう!**

日本赤十字社 啓発チラシより

⚠ 脱水症状のサインは、普段より尿の量・回数が減る、色が濃くなる、などです。
症状が見られたら、積極的に**水分補給**をしましょう!

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

被災された方々に配布している 44
熱中症予防に関する啓発チラシ

2 日本赤十字社の主な活動状況



避難所で不要となった段ボールベッドを解体し、
清掃を行うボランティア(熊本県 氷川町)



赤十字飛行奉仕団の活動
(熊本県 益城町)



街頭で義援金を募集する青年赤十字奉仕団
(佐賀県 佐賀市)



街頭で義援金を募集する日本赤十字九州国際
看護大学の学生(福岡県 北九州市)

2 日本赤十字社の主な活動状況

(6) 義援金の受付

皆様方からお寄せいただきました義援金は、被災地の
方々の生活を支援するため、全額を被災地の義援金配分
委員会にお送りいたします。

- ア 義援金名 令和8年熊本地震災害義援金
- イ 受付期間 令和8年7月31日（金）～令和8年10月30日（金）
- ウ 協力方法 [日本赤十字社ホームページ](#)をご覧ください。
- エ 受付状況（令和8年8月21日（金）集計時点）

◎受付金額 3,345,841,272円

◎熊本県義援金配分委員会への送金額 3,345,841,272円

※上記送金後に寄せられた義援金については、熊本県義援金配分
委員会への速やかな送金に向けて順次取り進めて参ります。